

第2部

6. 教材の概要／シナリオ・スライド


指導案

→ p.48

教材 1

ネットゲームに夢中になると...

シナリオ・スライド

<p>導入編</p>		<p>小学校6年生のひろしさん，欲しかったゲーム機を買ってもらいました。お母さんと「ゲームは一日に1時間」と約束をしています。</p>
		<p>最初の頃は約束を守っていたひろしさんでしたが，次第にやめられなくなっていき，ついにはお母さんとの約束を守らずに何時間もゲームをするようになりました。ゲームのステージが上がるにつれて，約束が守れなくなっていきます。</p>
		<p>朝は寝坊，学校の授業中もゲームのことばかり考えています。友達づきあいも悪くなってしまい，日常生活に支障を来すようになってしまいました。</p>
<p>解説編</p>		<p>【待ち合わせ】 ゲームに参加している友達と約束しているから，ゲームをやらないといけないと思ったり，自分だけがゲームから抜けることができなくなったりするようになっていきます。 【ゲームレベル】 友達のレベルが上がっているから，自分ももっとレベルを上げたいと思ったり，ゲームの友達から自分のレベルを褒められたりして，だんだんゲームをやめられなくなります。</p>
		<p>【役割と成長】 仲間と一緒にプレイするネットゲームには，一人一人に役割があり，ゲームの進行，自分の役割やチームのことを考えて，長時間ゲームをするようになってしまったり，ゲームが進むにつれてレベルが上がり，クリアするのがより難しく，より時間がかかったりすることがあります。お金を払ってレベルアップする，といった仕組みもあります。</p>
		<p>オンラインゲームを安全に使うには，次のことを守る必要があります。 「決めたルールは絶対に守る」 「時計をセットし，家の人に声をかけてもらう」 「自分でやめられなくなりそうだったら，家の人にゲーム機を預ける」 「ペアレンタルコントロールを設定する」</p>
		<p>ひろしさんは，ルールが守れなかったためにゲームのことが頭を離れなくなって授業に集中できなかつたり，夜中までゲームを続けて睡眠不足で学校に遅刻したりしました。これがひどくなると，昼夜逆転して欠席が続くようになることもあります。オンラインゲームにはまり，インターネットがやめられなくなることを「ゲーム依存」といいます。「ゲーム依存」は，「ネット依存」の入り口のひとつです。</p>
		<p>ゲーム依存にならないために，けじめをつけて，時間になったら絶対やめることが大切です。体の健康はもちろん，心の健康にも気を付けながら，インターネットと楽しく付き合しましょう。</p>